

新型舗装導入へ 廃タイヤ利用で環境に配慮 ～県内初！歩道路面施工に向け 歩行性調査を実施～

- 今回、廃タイヤを用いた新型舗装（歩道用凍結抑制弾性舗装）の歩行性について、体感調査を行います。
- 本舗装は廃タイヤをリサイクル利用し、チップ化したものを、樹脂と混合して成型したプレキャスト（あらかじめ工場で作成した製品を現場に持ち込み設置する）タイプの弾性舗装版です。
- 財団法人土木研究センター（茨城県つくば市）が、積雪寒冷地域で頻発している歩道でのスリップ事故対策の一手法として開発したものです。
- 弾性舗装版の期待できる効果
 - ① 弾力性に富んだ快適な歩行感と転倒時の安全性向上
 - ② 保水機能を利用した凍結防止
 - ③ 夏季ヒートアイランド効果の抑制

◇実施概要

- (1)日 時 平成19年12月21日(金) 午前10時から（1時間程度）
- (2)場 所 国土交通省金沢河川国道事務所 玄関前
（金沢市西念4丁目23番5号）
- (3)参加者 国土交通省・石川県・金沢市の関係職員 約30名
- (4)実施内容 試験施工した同舗装版上を関係職員が実際に歩き、歩行感覚や外観について調査するものです。



▲事務所玄関前の試験フィールド

★取材を希望される方は同日9時半頃に当事務所1階ロビーにお越し下さい。詳細資料を配付し概要を説明します。

問い合わせ先：国土交通省 金沢河川国道事務所
金沢国道維持出張所 出張所長 宮川 実
(Tel076-238-5071)